

都市再生整備計画 事後評価シート
リニモ沿線地区

平成29年3月

愛知県長久手市

様式2-1 評価結果のまとめ

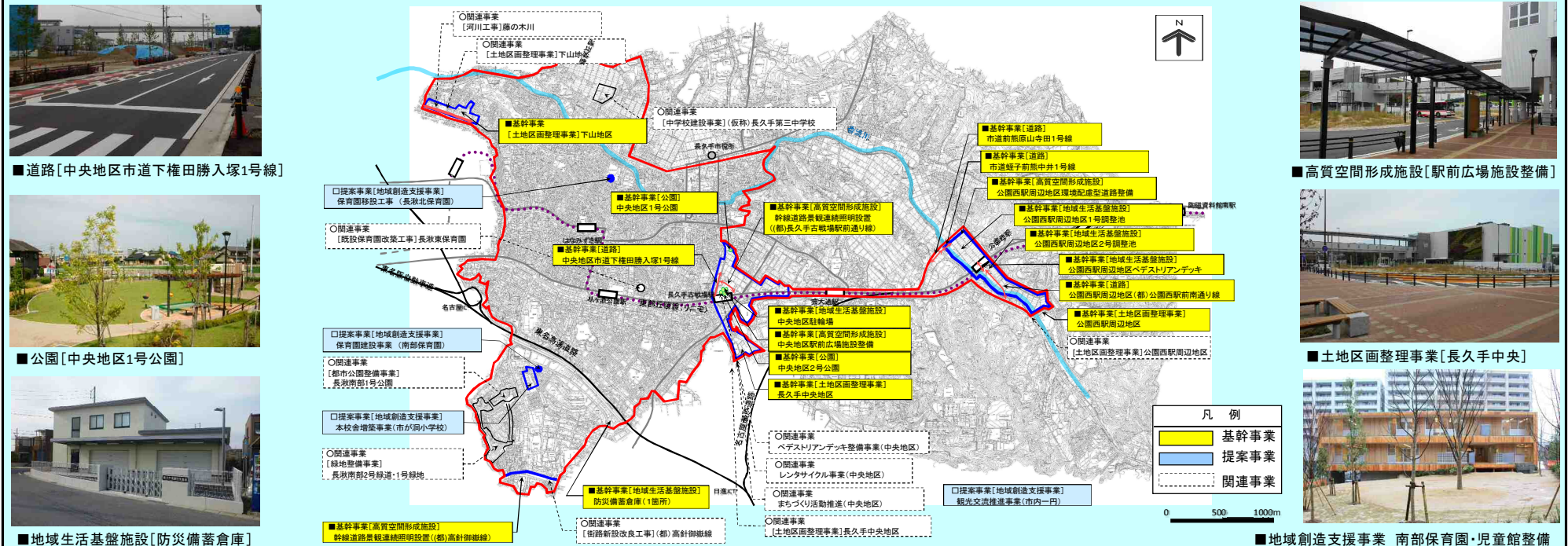
都道府県名	愛知県	市町村名	長久手市	地区名	リニモ沿線地区			面積	804.0ha				
交付期間	平成24年度～平成28年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	5.652百万	国費率	0.378						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> ・道路(市道蛸子前能中井1号線、中央地区市道下権田勝入塚1号線) ・公園(中央地区2号公園) ・地域生活基盤施設(駐輪場)中央地区駐輪場) ・高質空間形成施設(幹線道路景観連続照明設置)(都)高針御嶽線、(都)長久手古戦場駅前通り線、(駅前広場施設整備)中央地区駅前広場) ・土地区画整理事業(長久手中央) 										
		提案事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業(観光交流推進事業)市内一円、(保育園建設事業)南部保育園、(既存保育園改築工事)長秋北保育園、(本校舎増築事業)市が洞小学校 										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> ①道路((都)長久手古戦場駅前通り線、市道よし池3号線、市道深廻間1号線) ②高質空間形成施設((電線地中化)(都)長久手古戦場駅前通り線、中央地区区画16-2号) ③高次都市施設((ペDESTリアンデッキ)中央地区ペDESTリアンデッキ) 	<ul style="list-style-type: none"> ①他路線との統合や他事業において整備するため削除。 ②店舗隣接道路からの裏配線による受電が可能となったため削除。 ③出店店舗との協議の結果、店舗側による施工となったため削除。 	<ul style="list-style-type: none"> ①関連事業として施工されるなど、事業実施内容に変更はないため、数値目標は据え置く。 ②裏配線への変更あり、地上部に電柱が露出しないという事業目的に変更はないため、数値目標の変更は行わない。 ③デッキ自体は計画どおり施行されることから、事業実施内容に変更はないため、数値目標は据え置く。 								
		提案事業	<ul style="list-style-type: none"> ①地域創造支援事業((河川工事)藤の木川、(レンタサイクル事業)中央地区) ②まちづくり活動推進事業((まちづくり活動推進)中央地区) 	<ul style="list-style-type: none"> ①市単独事業となり、関連事業として事業を実施するため削除。 ②市単独事業となり、関連事業として事業を実施するため削除。 	<ul style="list-style-type: none"> ①関連事業への事業区分の移行であり、事業実施内容に変更はないため、数値目標は据え置く。 ②関連事業への事業区分の移行であり、事業実施内容に変更はないため、数値目標は据え置く。 								
	新たに追加した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> ①道路(市道前熊原山寺田1号線、公園西駅周辺地区(都)公園西駅前南通り線) ②公園(中央地区1号公園) ③地域生活基盤施設(防災備蓄倉庫)市が洞小学校区、(人工基盤)公園西駅周辺地区ペDESTリアンデッキ、(地域防災施設)公園西駅周辺地区1号調整池、公園西駅周辺地区2号調整池) ④高質空間形成施設((環境配慮型道路整備)公園西駅周辺地区) ⑤土地区画整理事業(下山、公園西駅周辺) 	<ul style="list-style-type: none"> ①隣接交差点への取り付き道路の整備目的がたつたほか、道路認定を受け、基幹事業としての位置づけが可能となったため追加。 ②土地区画整理事業の事業スケジュールの見直しに伴い対象公園の整備時期が都市再生整備計画期間内に変更となったため追加。 ③災害時対応において設置が必要となったほか、整備の目的がたつたことともに、基幹事業としての位置づけが可能となったため追加。 ④環境配慮型のグレードアップ整備を行うことになったため追加。 ⑤土地区画整理事業が、基幹事業として位置づけが可能となったため追加。 	<ul style="list-style-type: none"> ①関連事業との一体整備であるほか、当初の指標設定時に事業効果を見込んでいるため、数値目標は据え置く。 ②事業費等の精査による変更であるため、数値目標は据え置く。 ③防災備蓄倉庫は、指標③「住みよい」と思う人の割合(%)の数値に影響があると想定されるため、目標値を変更した。人口基盤、地域防災施設は、当初の指標設定時に事業効果を見込んでいるため、数値目標は据え置く。 ④当初の指標設定時に事業効果を見込んでいるため、数値目標は据え置く。 ⑤当初の指標設定時に事業効果を見込んでいるため、数値目標は据え置く。 								
		提案事業											
交付期間の変更	当初 変更	平成24年度～平成28年度 -	交付期間の変更による事業、 指標、数値目標への影響		-								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
			基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期			
	指標1	リニモ駅周辺居住人口	人	39,663	H23	46,100	H28	43,220	△	あり	-	子育て環境の充実や土地区画整理事業の区域内の大型商業施設の立地により、生活サービス水準が向上したことで、駅周辺の居住人口増加に繋がったものの、地域の魅力を高めるため土地区画整理の施行において大型商業施設の街区整備を先行したことから、定住人口の増加に資する宅地供給が遅れたことも要因となり、居住人口が目標に達しなかったと考えられる。今後は、駅周辺やその他宅地開発により宅地が順調にビルトアップすることで、目標数値を達成する見込みである。	平成29年8月
	指標2	リニモ利用者数	人/年	3,929,000	H22	4,141,000	H28	4,850,000	○	あり	-	市道下権田勝入塚1号線等の各種道路事業や駐輪場等の整備による各リニモ駅へのアクセス性、移動利便性の向上、並びに住環境の改善により人口が増加し、結果として、リニモ利用者の増加に寄与したものと考える。また、交付対象事業以外でも、愛知県等が進めるリニモ利用促進策やリニモ駅から沿線大学へのシャトルバスの運行、N-バスの再編によるリニモ駅へのアクセス性の向上などにより、大幅な利用者の増加に繋がったものと考えられる。	平成29年8月
	指標3	待機児童数	人	45	H23	23	H28	17	○	あり	-	南部保育園・児童館の新設等の整備による定員数の増加対策が待機児童数の減少に繋がったものと考えられる。	平成29年8月
指標4	「住みよい」と思う人の割合	%	41.2	H18	44.3	H28	47.2	○	あり	-	土地区画整理事業等による生活サービス水準の向上、景観連続照明の設置等による良好な街並み景観の形成、各種道路事業の推進によるアクセス性、安全性の向上及び防災備蓄倉庫の設置等による防災機能の強化のほか、交付対象事業以外のその他取組みの推進も起因し、安心安全で「住みよい」と思う人の割合の増加に繋がったものと考えられる。	なし	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標	単位	従前値	目標値	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ			
	その他の数値指標1		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期			

4) 定性的な効果 発現状況	・土地区画整理事業の実施による一団の宅地供給により、利便性の高い駅周辺に2店舗の大型商業施設の立地が決まっている。当該店舗の開業により、更なる交流人口の増加が見込まれ、対象地域に活気と賑わいが創出されると考えられる。			
5) 実施過程の評価	モニタリング	実施内容 なし	実施状況 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	今後の対応方針等 -
	住民参加 プロセス	保育園の改修・整備の検討に際し、住民説明会を実施しており、 その中で住民意向等の把握を行うことで、計画段階から円滑な 事業推進に向けた合意形成を図ることができた。	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ●	保育園の改修・整備のほかにも、西小学校区共生ステーションにおいて住民ワークショップを踏まえた施設整備が実施されているほか、現在計画されている長久手古戦場駅に近接するリノテラス公益施設の計画策定についても住民ワークショップが実施されており、このような市民主体の動きを継続していく。
	持続的なまちづくり 体制の構築		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	

様式2-2 地区の概要

リニモ沿線地区(愛知県長久手市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標:リニモとともにまちが賑わい、質の高い生活環境が整った暮らしやすく住み続けたいまちづくり ○目標①:リニモの駅を中心に人々が集まり賑わいのあるまちをめざす ○目標②:次世代を担う子どもたちがいきいきと育つまちをめざす ○目標③:安全・安心で快適な居住環境が整った暮らしやすいまちをめざす	リニモ駅周辺居住人口	単位:人	39,663	H23	46,100	H28	43,220	H28
	リニモ利用者数	単位:人/年	3,929,000	H22	4,141,000	H28	4,850,000	H28
	待機児童数	単位:人	45	H23	23	H28	17	H28
	「住みよい」と思う人の割合	単位:%	41.2	H18	44.3	H28	47.2	H28



まちの課題の変化

○事業期間内における着実な土地区画整理事業の進捗に伴う一部地域の宅地供給などにより、良好な生活環境が形成されたと考える。また、宅地供給に併せ、公園等の生活基盤施設や各リニモ駅へのアクセシビリティの向上に係る事業の推進により、駅周辺の移動利便性が向上したと考える。
 ○南部保育園・児童館の新設等の各種保育施設の整備等により、待機児童数の減少に繋がりが、保育需要への対策が実施できた。また、市が洞小学校本校舎の増築により、同小学校の児童増加への対策が実施できたと考える。
 ○土地区画整理事業等の推進による良好な居住地の提供、景観連続照明の設置等による良好な街並み景観の形成、各種道路事業の推進によるアクセシビリティや安全性の向上及び防災備蓄倉庫の設置等による安心・安全な生活環境の確保により、「住みよい」と思う居住環境の提供が進んでいると考える。
 ○土地区画整理事業における大型商業施設も含めた面整備等により、新たな交通需要の高まりが想定されることから、交通集中による道路渋滞への対応が必要である。また、広域的な移動も含めた鉄道とバス等の乗継ぎ利便性を高め、公共交通の利用促進に寄与できるような、駅周辺施設等における利便性の向上が必要である。
 ○今後も増加が想定される新たな居住者も含め、市民活動団体等の相互交流を促進するための情報発信が必要である。また、交流の場の創出や行政以外の新たなまちづくり主体の育成を進めていくことが必要である。
 ○環境に配慮した緑と水にあふれる空間の創出や環境負荷の少ない住宅地の形成など、環境にやさしい取組の推進が必要である。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

○先行した大型商業施設の街区整備に続き、今後も土地区画整理事業の着実な事業進捗による宅地供給に努めることで、居住人口の増加を図る。また、多様なリニモの利用促進策や更なるリニモ駅へのアクセシビリティの向上に資する取組を進め、鉄道駅を中心としたコンパクトで、魅力的な宅地供給を図る。
 ○各種保育園の整備等により、待機児童数の減少等の量的な子育て環境は向上しつつある。今後も学校及び各種保育施設とともに、他の子育て支援施設の整備も進め、継続的に子育て全体の環境の向上を図っていく。
 ○土地区画整理事業をはじめとした面整備の推進による良好な住宅地の提供に併せ、生活利便性に寄与する都市機能の充実を図る。また、子供から高齢者までが、安全・快適に移動できる交通体系を検討する。
 ○交通需要の高まりへの対策として、渋滞緩和に資する道路網の整備や身近な交通安全対策に資する道路改良を検討するほか、広域的な移動円滑化も含めた公共交通の利便性を高め、自動車移動からの転換を図る取組を行う。また、土地区画整理事業等による着実な道路等の基盤施設を整備する。
 ○地域コミュニティの形成に向けた交流機会、交流の場の創出に加え、地域コミュニティの醸成を図ることにより、安心安全なまちづくりを目指す。
 ○長久手市の文化が息づく既存施設に観光交流機能等の新たな付加価値を見出し、多様な主体の交流創出を図る。また、観光客を始めとした来訪者等の相互交流を促進するための情報を発信する。
 ○各所に緑地と空間機能を担う広場を創出し、潤いと憩いが共存し、居心地の良い施設整備を行う。